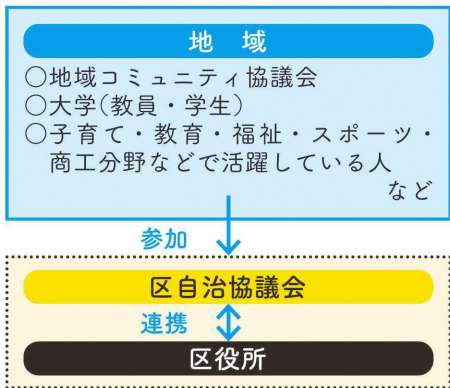


北区自治協議会だより

令和5年2月26日発行 第20号

自治協議会とは

地域住民と行政とが協働して、まちづくりの課題に取り組むための橋渡しをする、市長の附属機関です。毎月集まり、区民の皆さんのさまざまな意見を取りまとめ、区役所と連携して地域課題の解決にあたるほか、区自治協議会提案事業の企画・実施を行っています。



役割

審議会…市や区の施策や区の重要な計画について意見を述べます。
協働の要…地域住民の多様な意見を調整し、地域課題の解決に努めています。また、地域の活性化や課題解決につながる取り組みを提案し、事業として実施しています。

委員構成

- (1)地域コミュニティ協議会から選出された人
- (2)公共的団体などから選出された人
- (3)区長が必要と認めた人(有識者、公募による人など)



第8期を振り返って

会長 神田 征男さん

区自治協議会では、地域づくり、福祉教育、自然文化の専門部会ごとに、区ビジョンの「目指す区のすがた」である「自然、活力、安らぎにあふれるまち、住みたくなるまち」の実現に向けて、活発な議論を行い活動に取り組んできました。令和4年10月の、新庁舎1周年記念イベント「キテ・ミテ・キタ区役所」には、多くの皆さんが来場して楽しんでいただき、少し日常を取り戻せたと感じました。



自治協議会提案事業では、感染症の拡大などにより、実現できなかった活動もありましたが、委員一人一人が、できる範囲で考え、多くの事業で成果をあげることができました。これもひとえに委員の皆さんの熱意と努力があつたことと思います。

コロナ禍で環境や価値観が変化し、さまざまな課題が多様化、複雑化しています。「区の実情に合った自治協議会」を目指すには、大学生などの若い力や各分野の知識を活かした「協働による活動」が重要です。

委員に女性や若者が少ないなど自治協議会も課題が残りました。引き続き議論しながら地域課題の解決に向け、北区自治協議会が進化、発展することに期待します。



第8期の主な議事事項

- ▽新潟市総合計画審議会委員の推薦
- ▽「北区 区ビジョンまちづくり計画」素案
- ▽北区「特色ある区づくり予算事業」(案)
- ▽次期区ビジョン基本方針(案)
- ▽横井の丘資料館の廃止

北区 区ビジョンまちづくり計画策定

北区 区ビジョンまちづくり計画は、新潟市総合計画の一部である区ビジョン基本方針の実現に向けた取り組みと、実施計画に相当する具体的な取り組みを示した北区のまちづくり計画です。

計画期間は、令和5年度から令和12年度までの8年間です。

「基本計画」と「実施計画」で構成され、うち「基本計画」は、区ビジョン基本方針を踏まえ、より具体的な取り組みの方向性を示すものです。

構成は、「第1章 北区の概要」「第2章 北区 区ビジョンまちづくり計画体系図」「第3章 現状・課題/取り組みの方向性」となっています。

「実施計画」は、2年ごとに策定し、進捗管理を行います。

新潟市総合計画

基本構想

まちづくりの理念と
目指す都市像

基本計画

基本的な政策や施策
土地利用の基本的方針
区ビジョン基本方針

実施計画

基本計画で示した
施策を実現するための
具体的な取り組み

区ビジョンまちづくり計画

基本計画

- 第1章 北区の概要
1 地勢 2 歴史 3 自然 4 人口
5 土地利用 6 産業 7 交通
- 第2章 北区 区ビジョンまちづくり
計画体系図
- 第3章 現状・課題/取り組みの方向性

実施計画

上記で示した施策を実現する
ための具体的な取り組み(別冊)

【新潟市総合計画とは】

新潟市が目指すまちづくりのあり方を示すもので、「基本構想」「基本計画」「実施計画」で構成されています。区ビジョンまちづくり計画の上位計画です。

「基本構想」「基本計画」は、令和5年度から令和12年度までを計画期間とし、新潟市の目指すまちづくりの方針と、その実現に向けた政策と施策について記載するものです。また、施策の実現に向けた具体的な取り組みを掲載する「実施計画」は計画の中間である令和8年度に見直しを行います。

【区ビジョン基本方針とは】

北区の将来像や目指す方向性などを示すものです。

新潟市総合計画の「基本計画」の一部として策定されます。

北区自治協議会で検討・審議をし、新潟市議会の議決を経て策定しました。

委員研修会

北区自治協議会委員を対象とした区独自の研修会を1年に1回、開催しています。令和4年度は、市の歴史、有休施設の活用などについて理解を深めるため、閉校した小学校を改装して北区に開館した新潟市文書館を見学しました。



自治協議会に参加して

委員 皆川 英良さん

平成31年4月より2期4年間、協同組合北新潟商工振興会を代表して自治協議会に参加させていただきました。

2期目に所属した地域づくり部会では、小中学生を含めた地域の皆さんと一緒に防災意識の向上を目的とした「みんなであそんでまなぼうさい in 北区」を開催し、防災グッズの製作やジャッキアップゲーム、水消火器を使用した消火訓練などは非常に良い経験となりました。



私の所属団体は、主に松浜、南浜、濁川地区の企業、団体を中心に構成されています。

会員の中で、青年部やそのOB会を中心としたメンバーで企画運営されている「阿賀野川ござれや花火」は、地域を代表するイベントとなっています。

コロナ禍のためにイベントの開催には制約が多い状況が続いていますが、地域の活性化のためにも今年こそは例年通りの規模、内容で開催できるよう実行委員一丸となって準備を進めているところです。

皆さまも、8月25日はぜひ、「阿賀野川ござれや花火」にお越しください。

自治協議会を傍聴しませんか。

詳細は北区役所だよりやホームページなどでお知らせします。申し込みは不要です。直接会場にお越しください。

※会議開始10分前から受付。(定員を超えた場合抽選)

北区自治協議会専門部会

地域づくり部会

所管分野：賑わいづくり、公共交通、防災、地域産業

今年度の取り組み

みんなであそんでまなぼうさい in 北区

子どもから大人まで、誰でも楽しんで体験できる防災訓練を地域団体と協力して開催しました。

コミュニティ協議会やPTAと連携しながら開催した訓練には、多くの参加者から好評の声をいただきました。

ボランティアで参加した中学生のいきいきとした活躍で、会場は終始明るい雰囲気でした。

お年寄りから家族連れまで、世代を超えて交流する機会になりました。

令和4年10月1日 キテ・ミテ・キタ区役所に防災ブース出展

参加者：約800人

10月16日 濁川小学校 122人

11月20日 木崎小学校 168人



地震体験車による東日本大震災の揺れにびっくり



毛布を担架にして、カエル君を救出



防災士が分かりやすく消火器の取り扱いを説明



段ボールで作った椅子は意外と丈夫

委員 鶴巻 ヨシ子さん



コロナ禍の中でも地域に寄り添いながら、限りないパワーを持っている中学生ボランティアの皆さんと地域が一体となり、災害に対する準備活動が実施できたことは大変よかったと思います。

今後は、この経験を活かし、食生活改善推進員として、災害時でも簡単に温かい料理ができる「パッククッキング」の普及に、より力を入れていきたいと思っています。

こうした子どもたちのパワーと地域が一体となった活動が広がり、北区がより元気な地域になることを願います。

福祉教育部会

所管分野：子育て、教育、医療・保健、福祉全般

今年度の取り組み

「応援します、あなたの一歩」講座

ボランティア活動や地域活動に興味はあっても、なかなか一歩を踏み出せない人を後押しする講座を開催しました。2人の参加者とともに、ボランティアの基礎知識や心得などを学び、早通児童センターではボランティア体験をしました。子どもたちとふれあい、ボランティアを身近に感じることができました。参加者からは、「自分のできることから行動してみたい」との声をいただきました。

3月11日(土)には、新潟医療福祉大学で、健康に関する講座を開催します。自分の健康チェックや、体に合った筋力・バランスアップ運動などを、学生と一緒に学びます。

委員 遠藤 由美さん



当部会は今年度2つの事業を実施しました。一つ目は「ボランティア体験講座」です。現役を退く、子育てが一段落するなど、自分の時間が増えた皆さんに地域で力を発揮してほしいと願ったものです。私たちも「ボランティア」についてじっくりと学び直す機会となりました。二つ目は3月に実施予定の「行ってみよう大学！あなたのための健康講座」。健康第一ということで、新潟医療福祉大学の先生や学生と協働で行います。両事業とも他団体と連携することで充実したものになり、委員の皆さんからもたくさんの学びを得ています。笑顔あふれる楽しい部会に所属できたことに感謝です。



ボランティア講座



体験の様子

ボランティア活動 地域(自治・町内会)活動

誰かのために 自分のために

こんなペースで続けましょう

<p>1日1回以上</p> <p>外出しよう</p> <p>閉じこもりを防ぐために</p> <p>交流や活動での外出に加えて、こまめな買い物・ペットの散歩などの小さな用事もうまく組み合わせ、毎日外に出かけることを目標に取り組みしましょう。</p>	<p>週1回以上</p> <p>交流しよう</p> <p>孤立しないために</p> <p>地域活動による交流だけでなく、友人・知人や近所の人などの交流も視野に入れて、週に1回以上は交流の機会を持ちましょう。</p>	<p>月1回以上</p> <p>活動に参加しよう</p> <p>健康効果を出すために</p> <p>元気に暮らし続けるためには、楽しくてやりがいのある活動が大切です。趣味活動やボランティア活動が生活機能維持に効果的だというデータも出ています。</p>
--	--	--

自然文化部会

所管分野：文化・スポーツ、環境、空家対策

今年度の取り組み

北区 魅力発信継承事業

— 遠藤麻理さんと語る福島潟の楽しみ —

日時 令和4年11月5日(土) 会場 ビュー福島潟6階展望ホール 参加者96人
第10代ビュー福島潟名誉館長の遠藤麻理さんを招いて福島潟などの魅力を発信するイベントを開催しました。

— “ここが大好き” 北区まるごとゼーんぶ撮って！フォトコンテスト —

北区の魅力を広く発信するため、Instagramを活用しフォトコンテストを開催。

応募総数123作品の中から、優秀賞3点、入選10点の合計13点を決定。入賞作品は、北区ホームページから見られますので、ぜひご覧ください。



委員 本田 正美さん



自然文化部会は、北区の豊かな自然・文化を区内外に発信していくための事業を行っています。今年度は「遠藤麻理さんと語る福島潟の楽しみ」を開催しました。出演者は昨年度福島潟PR動画を一緒に作成した豊栄高校の皆さん、地元の割烹大倉屋の大倉社長、郷土博物館の曾部学芸員、ビュー福島潟レンジャーの赤井さんにお願しました。

フリーアナウンサーである遠藤さんのコーディネートと出演者の方々の掛け合いが素晴らしく、会場が盛り上がりました。レンジャーと学芸員の示唆に富んだお話で、地元に住んでいてもなかなか気づけない福島潟の魅力を再発見できました。来年度からの新しいこの部会でも、引き続き北区の魅力を発信して欲しいと願っています。



福島潟の楽しみ



フォトコンテスト



審査の様子



大賞:ダブルレインボー



大賞:晴天の十三潟



大賞:光輝く松浜橋の夜景